

基本情報



【年齢】
28歳
【出身地】
群馬県高崎市
【転出元】
茨城県つくば市
【前職】
株式会社JT
筑波大学大学院の学生
世界遺産専攻 修士課程
【活動時期】
R3.11～（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

● **地方への移住、まちづくりに興味があった**
約9年間の東京での学生生活、社会人生活を経て、地方への移住とまちづくりに関わる機会を求めています。当初は大学院の研究が目的で、中期滞在の予定でしたが、大田市大森町の暮らしに馴染んでいく中で、本格的な移住を決意し、地域おこし協力隊に応募しました。

● **地元の方との接点を持ちたかった**
仕事を通じて、地元の方との密な交流も期待していました。

今後の抱負・任期後の目標

● **今後の抱負**
まだまだ大森町で知らないことが沢山あるので、色々な人と繋がりながら、少しずつ大森町のことを知っていきたくと思っています。特に、この町で生まれ育ってきたご年配の方々に、昔の大森についてお話を聞いてみたいです。

● **任期後の目標**
まだ何も考えられていません。色々な可能性を探りながら、様々な経験をしていきたいと思っています。

活動内容

● 地元の高校生とのプロジェクト

島根県立大田高校と私が所属する筑波大学大学院の研究室を繋ぎ、共同プロジェクトを行っています。世界遺産を舞台に、世界遺産周辺に住む高校生と世界遺産について学ぶ大学院生が相互に学び合う場となっています。R.4年度は高校生視点で石見銀山の認知度の現状調査、地元の方や飲食店へのインタビューを踏まえて、石見銀山の魅力をまとめたフリーペーパーを制作します。



● 大学生インターンシップの受け入れ

大田市をフィールドとした大学生のインターンシップを企画・運営しています。R.4年度は2件（2校）の受入実績です。大田市には多様な産業がある他、歴史や伝統芸能、海・山・川の自然環境など、教育資源に恵まれており、様々なテーマで対応することができます。短期滞在から中長期滞在まで、今後も発展させていく予定です。



● 修学旅行生に向けたプログラム開発

石見銀山の教育旅行の受け入れ態勢整備や歴史学習だけではなく、様々なテーマでプログラムを企画しています。人が住む世界遺産の町であること、今子どもが増えている町であることなど、ここで得られる教訓や学びを基に、講話や町並み案内、熊谷家を拠点にした体験プログラムなどを作っています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram



Facebook

